

サービス

シンガポールSingtel、ネットワークスライシング技術により、ワールドカップ映像視聴体験を向上

Singtelは、有料TVサービスSingtel TV GO、エンタメサービスCASTのビデオアプリ利用者に対して、約1ヶ月の対象期間中、FIFAワールドカップ全64試合のフルハイビジョンでのライブ中継およびオンデマンド視聴を提供すると発表した。シンガポール全土をカバーする同社の5G SAネットワークが提供するネットワークスライシングにより、**トラフィックの多い場所でも安定し、優れた視聴体験を提供**としている。

Singtelは、10月にも同様にネットワークスライシングを用いて、F1レースのライブストリーミングに専用帯域を確保する期間限定プロモーションで5G SAのメリットを訴求していた。



下線部分のリンクを開くと、外部サイトの出典、参考記事が表示されます

5Gスタンドアロン (SA)

米Dish、開発者に5GネットワークAPIを公開

Dishは、5Gアプリケーションを構築するための**開発者ポータルサイト**を立ち上げ、同社の5GネットワークにつながるAPIを公開した。開発者は主に以下を実行可能となる。

- 5Gネットワーク接続の基本的なプロビジョニング、端末のアクティベーションとライフサイクル管理
- 構成、パフォーマンス、コスト予測の試験
- ほぼリアルタイムのデータストリーミングによる端末、サービス、ネットワーク状態の把握

Dishは、リスクとコストが低い方法で5Gネットワークを実験できることが、5Gを必要とするイノベーションを加速するために必要だと考えている。

Fierce Wirelessによると、Dishは、5Gネットワーク用のアプリケーションを開発するためのソフトウェア開発コミュニティを作りたいと考えている。そして、**API呼び出し回数に応じて課金することでネットワークをマネタイズする計画**。



Copyright(C) 2022 KDDI Research, Inc. All Rights Reserved.

米AT&T幹部、自動車セクターが5Gコア開発を牽引していると説明

AT&T Technical Director David Storm氏は、自律走行車のネットワーク機能改善のニーズが5G SAコア構築の主要な推進要因の一つであると以下の通り説明した。

- AT&Tのネットワークは、9月末時点で5500万台以上のコネクテッドカーに卸売サービスを提供している。
- General Motors (GM) との協業では 2024年までに数百万台のGM車両をAT&Tの5Gネットワークに接続する予定で、Microsoft Azureのクラウド接続を使用して、ネットワークエッジからサービスを提供する。
- GMは、トラフィック分類のためのダイナミックAPI制御の試験を最近開始した。これは、**利用可能なネットワークのタイプと各機能が必要とする遅延レベルの詳細を提供**することでセーフティサービスを実現可能とするもの。
- SA 5GコアにAPIで更なる制御を追加すること、顧客に対してよりダイナミックなサービス品質の制御を提供するためのエッジゾーンの構築など、完全自律走行車を実現するには多くの作業が残されている。

AT&Tのモビリティコア&ネットワークサービス副担当社長 McCaughan氏は、**オープンAPI**により、アプリケーション開発者がユーザーの位置を把握して、コンテンツをユーザーの近くに配置することも可能になると説明した。

独DT、BMWらとネットワークスライシング、ネットワークAPI、URSPに基づくQoSサポートを試験

DT、BMWグループ、Ericsson、Qualcommは、自動運転などの自動車向けユースケース実現のために以下の機能を試験したと発表した。

- **ネットワークAPI** : Quality on Demand (QoD) API機能により、要求条件の厳しいアプリケーションが一時的なネットワークパフォーマンスの改善を要求する機能。これにより、ネットワーク混雑時もQoS要件を満たせることを実証
- **ネットワークスライシング** : 一般データ通信用スライスとは別の高品質スライスを利用することで、混雑時も自動運転機能に必要な帯域幅が安定して提供されることを確認
- **URSP** (User Equipment Route Selection Policy) : 要求条件の厳しいアプリケーションのトラフィックは高品質スライス、その他のアプリケーションは一般スライスを使用するといった、異なるアプリケーションから複数のスライスに同時接続できることを実証

BMWグループのドライビング・エクスペリエンス担当SVPの Nicolai Martin氏は、「BMWグループは、5Gによる通信業界の活動が、多くの革新的な自動車機能、更には自動バレーパーキング（駐車サービス）の実現に向けた中心的存在になると考えている」と述べている。

プライベート5G/ローカル5G

タイdtac、AWSと連携し、プライベート5Gを提供開始

dtacは、小売、製造、物流業界を含むタイ企業のDX、業務効率化を推進するために、5Gモバイルプライベートネットワーク (MPN) の提供を開始したと発表した。

AWS上に構築された5G MPNは、以下3つのデジタルソリューションを提供する。

- **ロボット自動化** : 5G MPNに接続されたロボットによる倉庫などの自動化
- **予知保全** : センサー-Monitronを使用して、産業機器の異常な動作を検出し、機械学習によりデータを処理し、計画外のダウンタイムを削減
- **ビデオ解析** : 5G MPNに接続されたスマートビデオカメラを用いた侵入検知などリアルタイムモニタリングによるセキュリティ強化



6G

欧州電気通信標準化機構 (ETSI)、6Gの候補技術であるテラヘルツに関するグループを立ち上げ

ETSIは、新たにETSI Industry Specification Group on Terahertz (ISG THz)を発足した。既に31社が参加している。

ISG THz議長は、本活動をTHz技術に関する標準化前の研究活動を他のイニシアチブと連携し、将来の標準化への道を開くものと位置付けている。

本グループは、まず以下の2つにユースケースに焦点を当て、THz通信のターゲットシナリオと具体的な周波数帯域を定義することを目的としている。

- VR、AR、機内・列車内エンターテインメント、車両・衛星通信などの高速性が求められるアプリケーション
- ホログラフィック・テレプレゼンス、対話型・協調型ロボティクスなど通信とセンシングの両機能を必要とするアプリケーション

その他、THz通信システムの評価方法の仕様も検討する。